

言語研究のおもしろさ

ことばへの気づきを探る

ことばへの気づき (metalinguistic awareness) は多くの言語学者が利用するさまざまな判断 (容認可能性、同義性など) を支える認知の働きです。「ことば」に対する認知ですので、メタ認知の一種です。理論言語学者がそのおもしろさに気づくきっかけを作ったのが **Gleitman, Gleitman and Shipley (1972)** です。今回のミニ講義では、発達の観点からことばへの気づきとそれ以外のメタ認知の関係について考えてみたいと思います。

Lila R. Gleitman, Henry Gleitman and Elizabeth F. Shipley. 1972. "The emergence of the child as grammarian." *Cognition* 1, 137-164.